

平成24年度公金運用の実績について

平成24年度の公金の運用実績を取りまとめましたのでお知らせします。

1. 全体

平成24年度			平成23年度		
平均資金残高	運用収入	平均利回り	平均資金残高	運用収入	平均利回り
30,900 百万円	37,838 千円	0.122%	28,552 百万円	36,055 千円	0.126%

平均利回りは低下しましたが、平均資金残高が約23億円増加したため、運用収入が約179万円増加しました。

2. 内訳

(1) 一般会計、特別会計等

① 歳計現金等

	平成24年度				平成23年度			
	平均資金残高 (百万円)	構成比(%)	運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高 (百万円)	構成比(%)	運用収入 (千円)	平均利回り (%)
普通預金	2,012	27.5	400	0.020	2,149	24.4	417	0.019
定期預金	—	—	0	—	98	1.1	59	0.060
債券	3,949	54.0	3,697	0.094	4,768	54.1	4,697	0.099
その他	1,350	18.5	675	0.050	1,804	20.4	904	0.050
計	7,311	100.0	4,772	0.065	8,819	100.0	6,077	0.069

平均資金残高が約15億円減少したことに加え、平均利回りも低下したことにより、運用収入が減少しました。

② 基金

	平成24年度				平成23年度			
	平均資金残高 (百万円)	構成比(%)	運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高 (百万円)	構成比(%)	運用収入 (千円)	平均利回り (%)
普通預金	4	0.1	1	0.025	13	0.1	3	0.023
定期預金	1,757	12.4	1,803	0.103	1,552	12.5	2,679	0.173
債券	9,824	69.2	18,875	0.192	8,904	71.9	16,315	0.183
繰替運用	2,603	18.3	2,481	0.095	1,922	15.5	2,101	0.109
その他	—	—	0	—	—	—	0	—
計	14,188	100.0	23,160	0.163	12,391	100.0	21,098	0.170

平均利回りは低下しましたが、平均資金残高が約18億円増加したため、運用収入が増加しました。

(2) 企業会計

① 水道事業

	平成24年度				平成23年度			
	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)
	(百万円)	構成比(%)			(百万円)	構成比(%)		
普通預金	348	9.7	69	0.020	322	11.7	70	0.022
定期預金	—	—	0	—	989	35.9	2,777	0.281
債券	2,763	77.1	4,852	0.176	760	27.5	2,284	0.301
その他	471	13.2	235	0.050	688	24.9	389	0.057
計	3,582	100.0	5,156	0.144	2,759	100.0	5,520	0.200

平均資金残高が約8億円増加しましたが、平均利回りが低下したため、運用収入が減少しました。

② 下水道事業

	平成24年度				平成23年度			
	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)
	(百万円)	構成比(%)			(百万円)	構成比(%)		
普通預金	355	16.9	70	0.020	466	20.3	90	0.019
定期預金	—	—	0	—	221	9.6	155	0.070
債券	1,090	51.8	1,080	0.099	993	43.2	986	0.099
その他	659	31.3	327	0.050	618	26.9	328	0.053
計	2,104	100.0	1,477	0.070	2,298	100.0	1,559	0.068

平均利回りは微増となりましたが、平均資金残高が約2億円減少したため、運用収入が減少しました。

③ 病院事業

	平成24年度				平成23年度			
	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)
	(百万円)	構成比(%)			(百万円)	構成比(%)		
普通預金	668	18.0	133	0.020	455	19.9	91	0.020
定期預金	537	14.5	652	0.121	—	—	0	—
債券	2,510	67.5	2,488	0.099	1,796	78.6	1,693	0.094
その他	—	—	0	—	34	1.5	17	0.050
計	3,715	100.0	3,273	0.088	2,285	100.0	1,801	0.079

平均資金残高が約14億円増加したことに加え、平均利回りが上昇したため、運用収入が増加しました。

説明

- ・「歳計現金等」とは、一般会計及び特別会計に属する歳計現金並びに歳入歳出外現金である。
- ・「基金」とは、特定の目的のために積み立てた資金または定額の資金を運用するために設けられた資金のことをいう。本市では「財政調整基金」、「市民協働推進基金」、「福祉振興基金」等、21の基金を設けている。
- ・「債券」とは、国債、地方債、政府保証債、国庫短期証券(TDB)をいう。
- ・「繰替運用」とは、基金から歳計現金等への繰替え貸しのことをいう。
- ・「その他」欄には、譲渡性預金(1ヶ月未満)による運用及び他会計貸付金を記載している。
- ・平均資金残高＝延べ運用額÷365日(＝延べ運用額÷366日)
- ・平均利回り＝運用収入÷平均資金残高×100